教職履修カルテについて

「教職実践演習」と「教職履修カルテ」

「教職実践演習」は、教職課程履修の総括科目として４年次後期に必修科目として配置される。当該授業は教員養成段階で修得すべき教員として必要な知識技能・資質能力が、どのように獲得できたのかを確認し、補完するためのものである。

「教職履修カルテ」は、教職志望者自身によってなされる在学中の教職課程履修状況等の記録であり、「教職実践演習」において知識技能・資質能力を把握するための教材として用いられる。

「教職実践演習」の履修にあたっては、その履修前までに「教職履修カルテ」が完全に記入済みであることが前提となることから、各自で「教職履修カルテ」の該当ページを確認し、１年次から着実に必要な事項を記入するとともに、自己点検・自己評価をすること。また、必要に応じ本カルテを用いた教員による診断を行う。その結果を次の学びに役立てる工夫をすること。

「教職実践演習」の概要　　※2021年度：教職実践演習シラバスより転記

　教員としての資質・能力の中核は、優れた授業の実践力を通した生徒指導力である。本演習では、教育実習の実地体験をふまえつつ、その圧倒的な経験に振り回されないための分析力を身に付けると共に、生徒の実態を踏まえつつ、同時にそれを変革するより高次の実践力を身に付けることをめざして、教育実習簿の客観的な分析や模擬授業を実施し、批評会も行う。

「教職履修カルテ」の活用方法

主な活用目的は４年次後期に履修する「教職実践演習」受講時の教材であるが、１年次より各年次必要項目を忘れることなく記録し、必要に応じ教職課程担当教員により診断を受ける。

教職課程の履修計画にあたっては、各自が学修ガイドブック教職課程のページを熟読し、自己責任において履修すること。また、教職課程履修に必要なオリエンテーションの案内はポータルサイトにて行うので、注意しておくこと。

「教職履修カルテ」の保管

教職履修カルテの様式は、次の場所に掲載している。

　ポータルサイト＞指定リンク　教職履修カルテ（2022年度以降様式）　（TOPページ中ほど）

ここに各ページをWord形式にて掲載しているので、入力、印刷の上、２穴ファイルに綴り保管すること。手書きも可。

Wordに入力の結果、様式は１ページであるがページ内に収まらないことが考えられる。この場合、複数ページにわたっても差し支えない。また、1冊のファイルに収まらない場合は、分冊しても差し支えない。

記録に残すべき事項はもれなく綴ること。